



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール: [kyousan@jcp-yachiyo.jp](mailto:kyousan@jcp-yachiyo.jp)

日本共産党  
八千代市議団  
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第677号

2025年9月1日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 地域の財産「県立高校を守れ！」

### 千葉県教育委員会のプランは「八千代西校の廃校!？」

千葉県教育委員会は、5月26日「県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム(案)」を公示、八千代市では、勝田台文化センターで6月27日と7月17日に県民説明会を実施しました。

説明会では、「西校は定員未充足が続いている」、「活力ある教育活動を展開するために東校と統廃合する」という内容から「統合後の校名・制服・校章」の決定方法に至るまで、あたかも2028年度(令和10年度)の統廃合が確定しているかのように思わせるものでした。

●参照:「説明会資料(八千代会場)」PDFファイル



### 「東校も西校も必要」卒業生から切実な声

しかし、説明会後の質疑において、東校卒業生からは「東校も西校もそれぞれの生徒の学力や将来に寄り添った学校なので必要、無くさないで欲しい」、「西校から東校まで自転車で27分と簡単に言うな」という意見。

また、「定員未充足の根拠となる適正規模の科学的根拠は?」という質問に対しては、県側が答えることが出来ない場面もあり、統廃合に反対する声が多くあがっている中で説明会は時間切れになっています。

### 昨年実施の地域フォーラムでは「存続させて」の声

県は昨年、プログラム(案)作成のために、西校で地域フォーラムを実施し地域の意見を聞いています。その中で「日本は1学級当たりの生徒数が多い。少なければ少ないほどきめ細かい授業ができる」、「この地域は生徒数がものすごく増えている。中学校も含めて学力の高い地域になりつつある」という声、そして「未来を拓いていけるような高校は存続させてほしい」という声が上がっています。県はこのような背景があるのにも関わらず、統廃合を強引に押し進めています。

●参照:令和6年度地域フォーラム「八千代西校に対するご意見」PDFファイル



### 八千代市は西校を「中学校として活用!？」しかし…

八千代市教育委員会は昨年5月に、西八千代地区の中学校教室数不足を解決するために西校の活用を方向性として公表している一方で、千葉県教育委員会は「廃校になった西校の活用」について「何も決まっていない」と説明会で答えています。

八千代市は、県が決定していない西高の廃校を前提として方向性を公表しているのです。

### 緑が丘地域には中学校も高校も必要！

緑が丘地域は、もともと計画されていた中学校の設置が無くなり「中学校空白地帯」になっています。そして地域の生徒たちは遠く離れた中学校へ通い続けています。

日本共産党は9月定例議会において、一刻も早い中学校の設置と地域の財産でもある八千代西高校の存続を求めて行きます。(9月3日の日本共産党代表質問で求める予定です)

### 県立高校統廃合中止を求める署名

市民団体「県立高校の統廃合を考える市民の会」は「県立高校統廃合中止を求める署名」を実施。この署名は、紙面による署名の他にウェブサイト「change.org」上でも実施され、短期間に多くの賛同者が声を上げています。

